

# 一番草収量が優れる多収なローズグラス品種

## リョクフウ

ローズグラスは細茎で多回刈りが可能な栽培しやすい暖地型牧草です。暖地の夏作栽培や南西諸島の永年栽培に適した草種です。



リョクフウの草姿

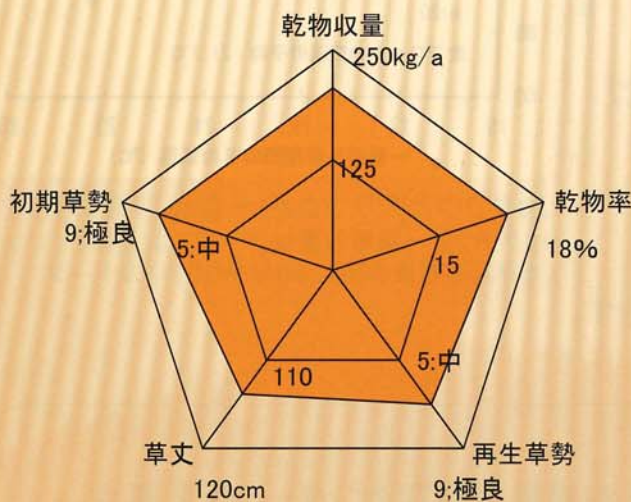
### リョクフウの特徴

1. 初期生育が優れ、一番草の収量が優れる多収品種です。
2. 暖地から南西諸島までの広い範囲に適する品種です。
3. 乾燥容易な細茎の二倍体品種で、乾草やラップサイレージ利用に向きます。



リョクフウ

アサツユ

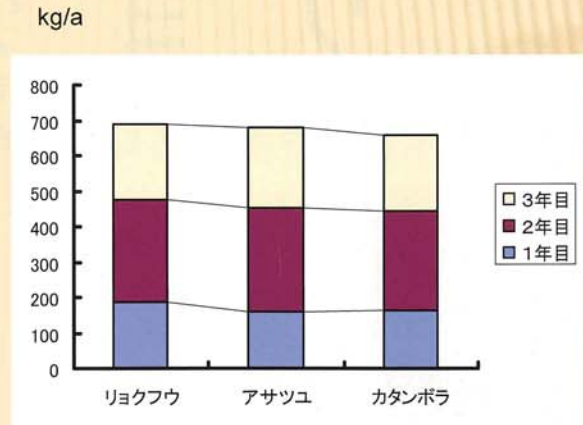
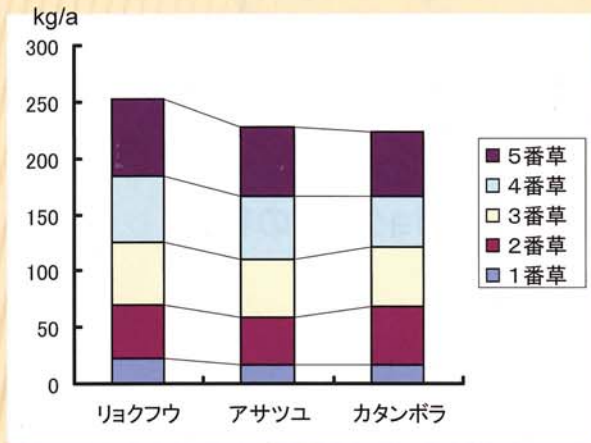


リョクフウの特性

リョクフウは、播種後の草丈の伸びや茎数の増加が早く、初期伸長性が優れています。茎葉はアサツユよりやや細めです。

**栽培適地：暖地の夏作栽培、西南諸島の永年栽培**

ローズグラスは平均気温15℃以上になったら播種できます。播種量は10A当たり1.5KGから2.0KGが標準です。種子が小さく土壤水分が発芽に大きく影響するため、多収を得るには播種時のていねいな耕耘や覆土・鎮圧作業が重要です。

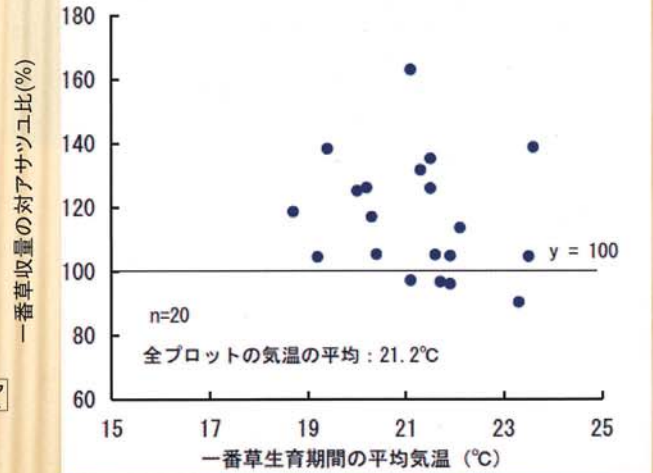
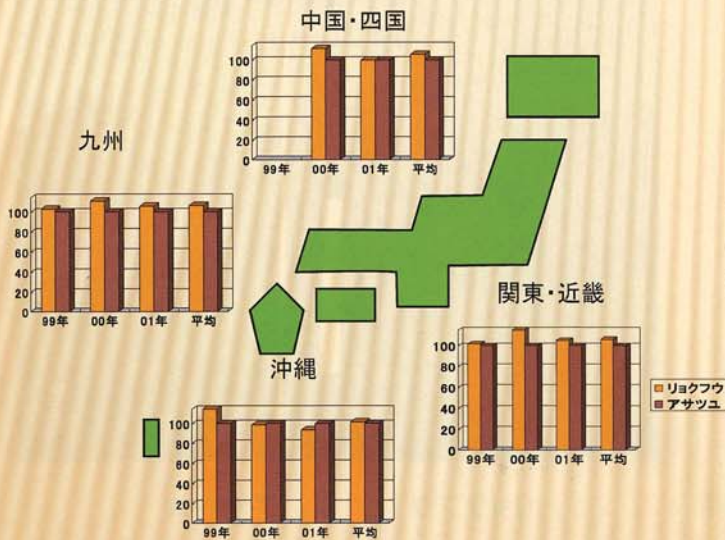


リョクフウの収量(鹿児島 99年~01年平均)

暖地の夏作単年利用栽培ではアサツユ・カタンボラを上回る収量が得られます。

南西諸島の永年利用栽培の収量性

南西諸島の永年栽培でもリョクフウはアサツユと同等の多収性を示します



リョクフウとアサツユの一番草収量の比較  
リョクフウの一番草収量はアサツユより優れています。  
(九州から関東の8県, 99年から01年のデータ)

リョクフウは関東以西の広範な地域で多収性を示します。  
99年~01年の年間合計乾物収量と3年間の平均

【育成機関】 問い合わせ先 :

(独)九州沖縄農業研究センター 合志拠点  
畜産草地研究領域 飼料作物育種グループ  
電話 096-242-1150、FAX 096-249-1002